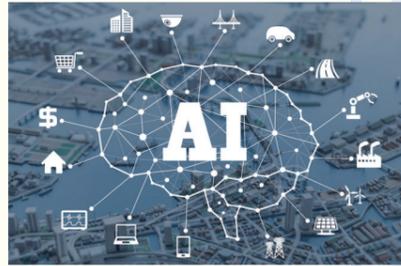


日本アイ・ビー・エム株式会社 (IBM) による特別講座も開講！



(画像はイメージです)

Society 5.0 向け、誰もが AI についての知識を持つ必要が出てきました。「AI 概論」の講義では、AI を使うことで実現できる様々なテーマを紹介し、機械学習、自然言語処理、画像処理、音声処理などの主要技術への理解を深めます。2020 年度からは日本アイ・ビー・エム株式会社 (IBM) の協力による特別講座を開講し、ディープラーニング (深層学習) の実社会での活用事例も学びます。世界的企業の実務家講師から AI 人材の「心得」を学びましょう！

データから、心を動かすアイデアへ

AI & DATA SCIENCE

副専攻「AI・データサイエンス」

KEIAI UNIVERSITY

対象学部学科

経済学部

国際学部

経済学科

経営学科

国際学科

ホームページで
詳しい情報を公開中！

敬愛大学 AI・データサイエンス

検索

From Data To Inspiring Ideas

 敬愛大学

<http://www.u-keiai.ac.jp/> 〒263-8588 千葉市稲毛区穴川 1-5-21
代表：TEL.043-251-6363 FAX.043-251-6407
アドミッションセンター：TEL.043-284-2486 FAX.043-284-2558
(入試・オープンキャンパス問い合わせ) ☎ 0120-878-070 [フリーダイヤル]

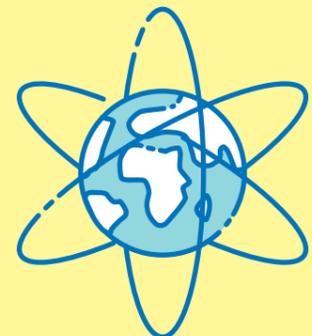
Twitter ID
@u_keiai



Instagram ID
@keiai_university



LINE ID
@keiai



データから、心を動かすアイデアへ

AIの急速な進歩によって、人が本来の強みである「想像力・創造力」を発揮して仕事に注力できるようになります。また、データをもとに新しいアイデアを創造し、革新に繋げていくデータサイエンスにも大きな注目が集まっています。副専攻「AI・データサイエンス」では、様々なモノ・コトへの関心から疑問や問題意識を見つけ、データを使って「心を動かすアイデア」へと導く方法を学びます。

副専攻「AI・データサイエンス」が目指すスキルレベル



新しい課題を自ら設定し、解決へのアプローチを考え、データを収集して様々な方法を組み合わせながら分析できる。人を動かし、組織に広めることができる。

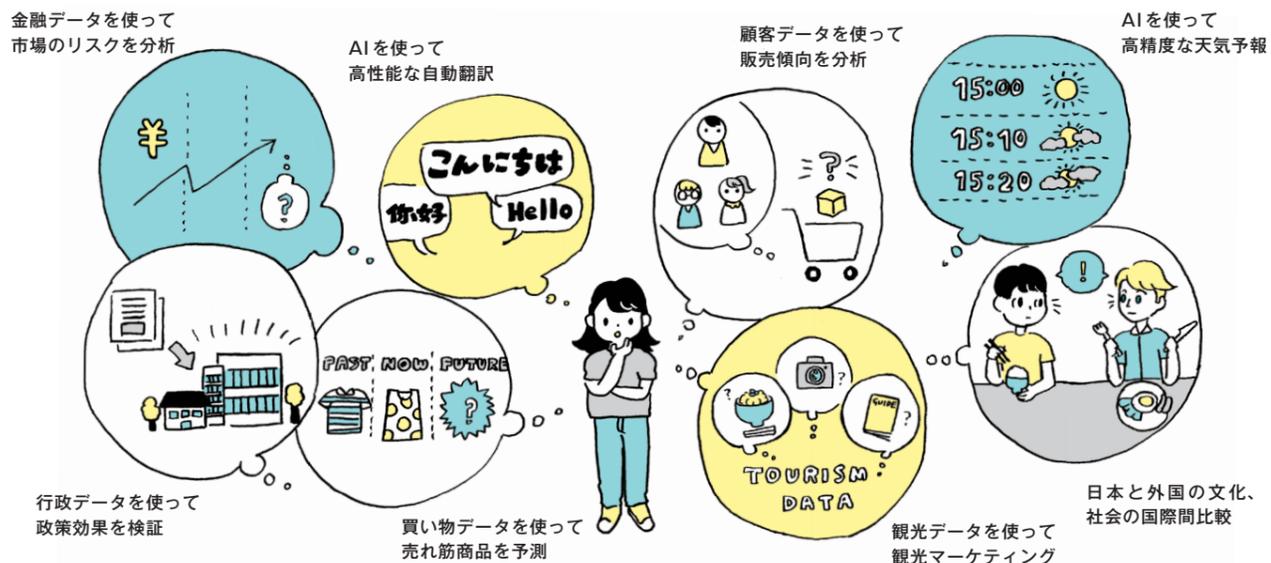
AI・データサイエンスの重要性と活用の倫理を理解している。必要なデータを入手して分析し、与えられた問題への解決策をまとめることができる。

「AI・データサイエンス」は、こんな人に向いています

将来の生活や仕事かどのように変わっていくのか知りたい	AI・データサイエンスを使った最先端の仕事を知りたい	これから必要とされる知識・スキルを身につけ、将来の仕事に活かしたい
本やインターネットで情報を集め、色々な角度で考察するのが好き	新しいアイデアを考えて、やり方を工夫するのが好き	コンピュータやソフトの使い方、データの扱い方をしっかり学びたい

私たちの生活・仕事とAI・データサイエンスとの繋がり

私たちの生活や仕事の様々な場面でAIが利用され、今後ますます生活が便利になっていくでしょう。また、データを活用することで様々な仕事上の問題を解決できるようになります。これらを使いこなせることはもちろん、適切な活用方法を理解する倫理観も大切です。

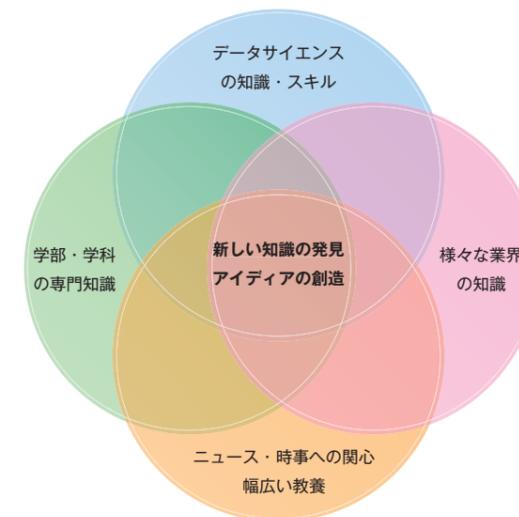


POINT

1

様々なモノ・コトに関心を向け、問題意識からアイデアを創造

学部・学科で専門知識を深め、ニュースや時事などに関心を向けると、様々な疑問やもっと知りたいことが見つかります。データを使って「なぜ」「どうして」を解き明かしていくと、大学の学びがより生き生きと感じられ、卒業後の社会で活かせる強みも身につきます。1年次に基礎を固め、2年次、3年次へと段階的に学修を深めていきます。



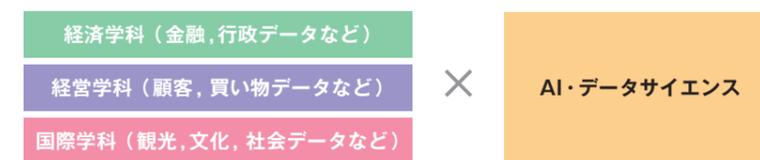
	入門	発展	応用	卒業後の社会
卒業後の活用を目指した段階的な学び	数やグラフの種類を理解し、与えられたデータを使って数値を集計、グラフ化できる。	データを自ら収集し、統計的分析を適切に使って、関心のあるテーマを考察できる。	課題解決の方法を自ら考え、様々な方法を組み合わせながら分析を実行できる。	業務知識を身につけ、スキルを磨く。データを使って組織の意思決定に貢献する。

POINT

2

専門分野×AI・データサイエンスの融合

「AI・データサイエンス」で学んだことは、学部・学科の専門性と融合させることで、大きな力を発揮します。経済学科では行政データを分析して公共政策の有効性について考察、経営学科では店舗の売り上げデータを使って販売傾向を分析、国際学科では観光、文化、社会の国際間比較を行うなど、文理融合の学修によって、様々なテーマを検証できるようになります。



POINT

3

様々な仕事で活躍が期待されるデータサイエンティスト

日本ではデータ分析の専門家であるデータサイエンティストが25万人も不足すると言われており、今後、ますます重要な職業になるでしょう。ここで学んだことを足がかりに、様々な仕事での活躍が期待されます。

目指せる進路	目指せる資格
<ul style="list-style-type: none"> 金融機関 (銀行・証券・保険など) 情報産業・e-ビジネス 地方自治体 (統計課、観光課など) 企業の経営企画部門 企業のマーケティング部門 企業の商品開発部門 企業の情報管理部門 大学院進学 など 	<ul style="list-style-type: none"> 統計検定 社会調査士 Microsoft Office Specialist(Excel) ITパスポート G検定 ビジネス数学検定 数学検定 など